

日刊 印刷編輯人 川崎文治 本社下同番地 (電話六三〇番) 印刷所 常盤毎日印刷所



刊夕日一月二十

定部金貳錢 廣五號十二 休日 祝日 大祭 常盤毎日印刷所 電話六三〇番

政治に 禍さるる經濟 (一) 田中五郎

經濟と政治とが不可分のものであり、經濟政策の主體が國家であることは今更らしくこゝに云ふまでもない事である。しかして國家の經濟政策が其時の内閣の方針によつて定められることである。然るに最近の財界の動きを見ると政府の政策によつて左右さるゝ

が、これを動かす政府の政策なるものは眞に國家百年の計を思つて行はるゝものではなくして、單に目先の人氣取り政策、政黨の利益から割出された政策によつて動かされてゐるのを見て堅實なる財界の將來の爲めに痛嘆に堪へないものがある。どの政黨が政權を握るとか、どの政黨の内閣が倒れるとか云ふことは要するに浪の起伏のやうなもので大きく見れば倒したり倒されたり、何年目かに同じことを繰り返すにすぎない。しかし一方經濟界のことはさう度々自由に轉變さる可きものではない。内閣が變



梅毒 淋病 婦人病 皮膚病 專門 院病村松

美術表具 玉成堂 森下商店

十二月二日替り マキノ映畫持作品 月形龍之助、マキノ輝子 主演 愚戀の巻

冬物荷揃特價大賣出し 大人メリヤス 六拾錢より 婦人メリヤス 三拾錢より

外科 門專 入院應需 上田外科醫院

冬服新荷着 新らしい品新らしい型冬服が澤山揃へました

養父長右衛門儀病氣ノ處十一月廿九日午後七時死去致候間御通知ニ代へ此段謹告仕候

外務社員大募集 一、年齢廿歳以上四十五歳迄 個定給の外賞與多大支給す

主効 心臟病、腎臟病、十二指腸虫病、黃疸、産後血之道、小兒疳の虫に不思議にヨクキク 靈藥 青病藥 定價 一週間分 (金壹圓)

磐城セメントに 降灰騒ぎが起る

坪刈りで被害が判り 會社側では今更だ狼狽

石城郡大浦村大字上仁井田
では區長賀澤助次氏外七十
餘名から磐城セメントの降
灰による水稲減收被害の賠
償を會社の岡田工場長山崎
庶務課長に交渉し
たところ會社側では今年は
例年より被害程度が少ない
やうであるから水稲立毛の
坪刈りを行なつた上でなけ
れば應じられないといはねつ
け本月初旬山陰で被害なき
どころと比較し二十餘ヶ所
を坪刈りを行なつたところ降
灰被害なき 耕地は一
坪 升八合平均(反當二石
六斗)の收量あるに拘らず
被害の甚だしい所は一坪一
升(反當一石四斗)を下る所
すらあり上仁井田五十町歩
の耕作者に賠償するには約
五千圓以上を支出せねばな
らぬので最初九百圓程度の
補償金要求をすら容れな
かつた

本年の麥作は 發芽が良好

極めて順調に 石城郡本年の麥作は草丈約 一寸五分位に達し例年に比 し谷地方も發芽頗る良好に して目下の處は發育極度順 調であるが石城郡下の作付 反別は二千六百餘町歩この 年産額四萬二千八百餘石に 達し年々増加の傾向にあり 極めて有望視されて郡農會 では水田二毛作付を奨励し つつあり漸次其の耕作方法 等も一般當業者の自覺によ り改良發達しつつある現状 にある

林野組合長會 石城郡林野保護組合聯合會組合

長會議は来る七日平署樓上
で開會左の諸件を審議する
▼指示事項 林野火災豫
防標識建設、公有林火災入
許可、濫伐の弊風矯正、
病害及野鼠驅除、鐵道沿
線火防設備の諸件
▼諮問事項 聯合會役員
大會開催の件
▼決議事項 大正十六年
度歳入出經費豫算同十五
年度決算

今曉湯本役場焼く 重要書類も烏有に 泥酔した小使が 爐の火を消すを忘れて

今曉午前十二時半頃石城郡
湯本町字三國岡町役場より
火を失し遂に全焼して同一
時半鎮火したが焼失坪數十
六坪にて夜間突然の火災の
事として重要書類等持ち出
す暇なく烏有に歸せしめた
原因は役場の小使與田留吉
が小使部屋の爐に多量の木
炭を焚き暖をとるにつれ飲酒
泥酔して其儘寢床にむぐり
込んだが爐の附近に散らし
てあつた新聞紙其他に燃え
移り大事に至つたものにて
損害に調査中の由

五萬餘圓損害 平署管内の 火災統計

此れから愈々火災期に入る
が平署署管内の四町十八
ヶ村に於ける本年一月から
去月中旬迄の火災件数は廿
三件損害額は五萬四千四百
廿三圓といふ巨額に達して
ゐる、其原因を見るに失火
事件で其他は放火であるが
當局では本年度は此れで喰
止め様と火の用心等の宣
傳ピラ等を印刷し火防の督

炭車に激突 胸骨を折る

石城郡赤井村大字高萩字山
の入居住田村郡瀧根村大字
菅谷生れ福島炭礦後山婦佐
藤ナツ(三)は昨廿日午後一
時半同炭礦坑内にて疾走し
來れる炭車に氣付かず激突
し胸骨を折つて死亡したと
懷中一錢で

金持風を装ひ 遊興して逃走

住所不定河沼郡廣瀬村大字
沼越字土田生れ左官職詐欺
前科一犯石田(三)は懷中
僅か一錢を有するばかりな
のに相當金持ちの風を装ひ
去る廿九日午後十時頃平町
南町飲食店齊藤サダ方に登
樓九圓卅五錢分を飲食遊興
して逃走したが急報に接し
た平署の金田或海兩巡査に
逮捕された因に石田は去る
十六日若松刑務所を出たば
かりであつた

平町 虎眼検査

平町にては三日から左の日
割りに依りトラホームの檢
診を行ふ由
△鈴木醫師(三日)新町、
長橋町(五日)研町、古鍛
治町(七日)揚土、八幡小
路(十日)久保町△吉田(五
日)一丁目(八日)二丁目
(十日)北目、胡澤澤△新
妻醫師(四日)材木町(六
日)鍛冶町(八日)四丁目
(十日)北白銀町、柳町△
星醫師(三日)南町、舊郡
衛通西部(六日)南町、舊
郡衛通東部(八日)大工町
(十一日)鎌田町(四日)△
牧原醫師(五日)六日)南
白銀町(九日)鐵道官舎(一
十一日)仲間町△吉田(一
十一日)醫師(四日)田町、郡衛
通北部(七日)新田町、舊
郡衛西部(九日)搔堀小路
(十一日)舊城跡△賀澤醫
師(五日)三丁目(七日)月
見町、堤の内(九日)新川
町(十二日)立町

冬のスリ 流行の瀧

今年の冬
向きモス
リンは極
めてすつ
きりした
調子のも
のが一般
に喜ばれ
つゝある
、即ち友
禪式のゴ
タゴタした
ものもよ
りも綿ど
か緋あじ
らひのも
のが喜ば
れてゐる
、中にも
瀧綿は今
年の冬の
モスリン
に於ける
代表柄
とも云へ
る程歡迎
されてゐ
る。新し
い柄で大
流行にな
つてゐる
もの二三
を示すと
綿モス十
七八歳以
上二十三
歳位の令
嬢向きの
物で紺地
に薄茶に

若奥様 向きとして

摺染風の
地色と燕
脂色で竹
に蔦の葉
をかませ
た模様
等、羽織
地として
仲々好ま
しく落ち
付いた感
じのよい
もの、次
に御召モ
スの十八
九歳以上
二十三歳
位の令嬢
向きの羽
織に
相應し
いもので
くすみ鱗
脂の地に
霞を黒に
て現した
もの、す
つと若向
きに二十
歳前の若
い令嬢向
きの小紋
モス吳竹
色に薄い
ローズ色
でよろけ
縞を現し
そに菊花
と紅縞を
共地色に

矢張り 二十歳前 の令嬢向 きの小紋 モスに

あじらつたもの等は仲々鮮
かな色調で好ましい趣を見
せてゐる

平第一校にて 手工講習會

一月下旬に
高等小學校令改正の結果來
年度から手工科を課するこ
とになつた爲め是れが研究

有聲座の忠臣蔵

調査は最も時機を得た施設
と考慮せる石城郡教育會に
ては平第一小學校講堂に於
て一月廿一二の兩日午前九
時半から午後三時迄手工講
習會を開く由であるが講師
は本縣師範學校教諭古尾亮
壽氏である

女も交つて 越後屋の賭博

快男子濱田格君の戀愛喜劇
『青春の歡喜』等今週は素
晴らしい名畫揃へである

運送株の割當

運送業者の合同に關して其
持株の割當では平運送株式
會社は三千七百五十株、丸
通阿部運送店は三千三百五
十株、丸星馬目運送店は二
千九百株であると